

日本、ILO と共に、ソマリ州の災害対策および雇用創出を支援

2022年10月12日、伊藤大使はソマリ州を訪問し、日本政府が資金を提供しILOが実施した「ケブリベヤ・ジジガ地域における水・衛生事業を通じた雇用創出及び防災支援」プロジェクトの完了に際して行われたイベントに参加しました。

本プロジェクトでは、500人近い難民及びホストコミュニティの人々が労働力を提供し、労働集約型アプローチに基づいて7つの貯水池を建設しました。このアプローチでは、地元の労働力、資源、資材や業者を最大限活用することにより、地元関係者のオーナーシップを高めることを目指しています。日本のNGOである「道普請人」(CORE)は、日本の伝統的な洪水対策及び池の盛土方法である「土のう技術」の紹介を通じて、技術トレーニングやアドバイスを提供しました。

イベントの参加者は、貯水池の一つを訪れ、水が家畜用水や農業用水、飲料以外の家庭用水として利用されている様子を視察しました。貯水池周辺では、新しく開拓された農地でトウモロコシ、タマネギ、トマト、唐辛子などが栽培され、地域住民の食料及び現金収入の増加に貢献しています。



完成した貯水池



新しい農地



栽培中のトマト



家庭用水の蛇口



地域住民の人々と



貯水池横のプロジェクト看板